

2026年度(令和8年度) 履修証明プログラム募集要項

履修証明プログラムとは

大学のより積極的な社会貢献を促進するために、主に社会人を対象とした教育プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者に対して学校教育法第105条に基づく履修証明書（Certificate）を交付するものです。なお、学位が授与されるものではありません。

履修証明プログラムの履修生として入学が許可されると、同時に本学研究科科目等履修生としての身分を有することになり、単位制プログラムで修得した単位は科目等履修生として修得したものとして取り扱います。（時間制プログラムの「顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座」は対象外となります。）

〔参考〕 [文部科学省 HP：大学等の履修証明制度について](#)



文京学院大学大学院

I. 募集概要	1
II. プログラム	3
1. 摂食嚥下リハビリテーション講座	3
2. 臨床と研究をつなぐ運動解析講座	4
3. 顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座	5
4. 地域包括ケアと多職種連携の実践講座	7
5. 多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座	8
6. 多職種連携による人材育成と教育実践講座	エラー! ブックマークが定義されていません。
III. 出願書類および出願方法	10
IV. 個人情報の取扱いについて	11
V. その他	12
1. 受講許可証および受講生証の発行について	12
2. 施設等利用について	12
3. 受講上の注意	12
VI. 問合せ先	12
VII. アクセス MAP	13

I. 募集概要

1. 本プログラムを開設する研究科

- ・保健医療科学研究科
- ・福祉医療マネジメント研究科

2. プログラムおよび募集人員 ※各授業内容は、II. プログラム頁参照

[保健医療科学研究科]	1. 摂食嚥下リハビリテーション講座	5 名
[保健医療科学研究科]	2. 臨床と研究をつなぐ運動解析講座	10 名
[保健医療科学研究科]	3. 顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座	5 名
[福祉医療マネジメント研究科]	4. 地域包括ケアと多職種連携の実践講座	5 名
[福祉医療マネジメント研究科]	5. 多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座	5 名
[福祉医療マネジメント研究科]	6. 多職種連携による人材育成と教育実践講座	5 名

※講座の受講に関するご注意

講座番号4～6については、いずれか1講座のみ受講可能です。複数講座を同時に受講することはできませんので、各講座の内容をご確認のうえ、ご自身の目的に最も適した講座をお選びください。

3. 出願資格

- ①学校教育法第104条に規定する大学院に入学することができる者および本学大学院が認める者
- ②各プログラムに記載の対象者の方 ※II. プログラム頁参照

4. 入試スケジュール ※受講希望講座によってスケジュールが異なります。

[保健医療科学研究科] **講座番号：1. 2. 3**

出願期間： 2026年1月22日（木）～2月12日（木）郵送受付（消印有効）

試験日： 2026年2月22日（日）※集合時間は追って連絡いたします。

試験会場： 文京学院大学大学院 本郷キャンパス

選考方法： 「書類審査」および「面接」により選考します。

合格発表日： 2026年3月2日（月）

入学手続期間： 2026年3月11日（水）

（学費納入） ※合格し履修を許可された方には、合格発表時に振込先を記載したご案内をお送りします。指定の期日までに学費を納入してください。入学手続きは学費の納入をもって完了となります。

[福祉医療マネジメント研究科] **講座番号：4. 5. 6**

出願期間： 2026年1月22日（木）～2月12日（木）郵送受付（消印有効）

試験日： 2026年2月23日（月）※集合時間は追って連絡いたします。

試験会場： 文京学院大学大学院 本郷キャンパス

選考方法： 「書類審査」および「面接」により選考します。

合格発表日： 2026年3月3日（火）

入学手続期間： 2026年3月11日（水）

（学費納入） ※合格し履修を許可された方には、合格発表時に振込先を記載したご案内をお送りします。指定の期日までに学費を納入してください。入学手続きは学費の納入をもって完了となります。

5. 出願書類および出願方法

Ⅲ.出願書類および出願方法 参照

6. 学費

	講座名	登録料	授業料	合計
1	摂食嚥下リハビリテーション講座	10,000 円	90,000 円	100,000 円
2	臨床と研究をつなぐ運動解析講座	10,000 円	90,000 円	100,000 円
3	顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座	10,000 円	110,000 円	120,000 円
4	地域包括ケアと多職種連携の実践講座	10,000 円	90,000 円	100,000 円
5	多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座	10,000 円	90,000 円	100,000 円
6	多職種連携による人材育成と教育実践講座	10,000 円	90,000 円	100,000 円

※授業で使用するテキスト代や教材費などは、別途必要になる場合がございます。

※既納の学費（受講料、授業料）については一切返還いたしません。

※学費（登録料、授業料）の振込については、別途ご連絡いたします。

7. 開講時期

開講期間	講座名
2026 年 4 月～2027 年 3 月	摂食嚥下リハビリテーション講座/臨床と研究をつなぐ運動解析講座/地域包括ケアと多職種連携の実践講座/多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座/多職種連携による人材育成と教育実践講座
2026 年 9 月～2027 年 8 月	顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座

8. プログラム実施場所

文京学院大学大学院 本郷キャンパス

※授業の開講形態は、Ⅱ.プログラムのカリキュラム等参照

9. 履修証明書の交付

修了要件を全て満たした者を修了者とし、修了式に「履修証明書」を交付いたします。

履修証明書は、修了式でお渡しします。

10. 受講生の身分

履修証明プログラムの履修生として入学が許可された者は、本学研究科科目等履修生としての身分を有します。単位制プログラムで修得した単位は科目等履修生として修得したものとして取り扱います。（時間制プログラムの「顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座」は対象外となります。）

Ⅱ. プログラム

[保健医療科学研究科]

1. 摂食嚥下リハビリテーション講座

本講座は、医療・保健・福祉・教育の現場において、摂食嚥下リハビリテーションの知識と技術を活用できる専門職の養成を目的としています。

摂食嚥下リハビリテーションの実施に必要な基礎知識を土台に、小児から高齢者まで幅広い対象に対応した評価・治療的アプローチを体系的に学びます。臨床や支援の場面で求められる口腔機能の評価、摂食嚥下機能の分析、治療的アプローチの立案に加え、環境因子の評価と改善に関する知識・技術も習得します。

また、本領域の学際的な特性を活かし、医療・福祉・教育など多職種との連携についても深く学びます。専門分野を超えた支援のあり方を理解し、実践に活かす力を育てます。

本講座は、現場での実践力を高めたい方、摂食嚥下リハビリテーションに関心のある方にとって、非常に有意義な学びの場となることを目指しています。

目指す獲得スキル

小児から高齢期までの摂食嚥下リハビリテーションの基礎知識、評価方法、治療的アプローチ

プログラムの特徴

- ・ 1回 100分授業、1科目につき全 27 回（45 時間）、全 3 科目を開講（合計 81 回・135 時間(10 単位)）
- ・ ハイフレックス型授業（対面・オンライン選択可）、平日夜間開講
- ・ 多職種連携を意識した実践的内容
- ・ 作業療法士に関しては、日本作業療法士協会「専門作業療法士（摂食嚥下）」養成研修のうち、応用研修のすべてについて単位互換が可能（申請中）

対象者

作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、特別支援学校教員、保育士、介護福祉士など

修了要件

規定カリキュラムのすべての科目を履修し、135 時間以上の受講および講座ごとの試験（レポート課題等）に合格すること。

カリキュラム等

 シラバスは科目名をクリックして閲覧できます。

	科目名・担当教員	授業回数 時間数（単位数）	開講期間	曜日・時限	開講形態
1	発達障害作業療法学特論 [神作一実・野部裕美]	27 回 45 時間(4 単位)	2026.4－2026.9	水曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	発達障害作業療法学演習 [神作一実・西方浩一]	27 回 45 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	火曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	成人・高齢期作業療法学特論 [大橋幸子・安永雅美]	27 回 45 時間(4 単位)	2026.4－2026.9	火曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

2. 臨床と研究をつなぐ運動解析講座

本講座は、リハビリテーション医療の基礎学問である「運動学」に焦点を当て、臨床と研究の両面から運動を多角的に捉える力を養成することを目的としています。

運動に関する分析方法を中心に、関連する多様な分野を体系的に学び、リハビリテーション医療を科学的に捉える視点を育てます。さらに、研究に必要な基礎的知識や、Python を用いたデータ処理・分析の初歩についても学修します。研究活動に必要な基礎知識を身につけながら、人が処理している生体信号の一部や、運動制御のメカニズムについても理解を深めていきます。授業はオンラインによる情報提供を中心に、一部対面授業も取り入れながら、柔軟かつ効果的な学習環境を提供します。

本講座は、リハビリテーション医療の専門性を高めたい方、運動学の理論と実践を深く学びたい方にとって、非常に有意義な学びの機会となることを目指しています。

目指す獲得スキル

- ・研究に必要な知識の基礎、生体計測の基礎、Python プログラミングの基礎
- ・AD 変換について、動作解析装置（床反力装置、3 次元動作解析装置）の基礎
- ・人の動作分析、関節モーメント等、研究の基礎や心構え、オリジナリティの確立など

プログラムの特徴

- ・1 回 100 分授業、1 科目につき全 27 回（45 時間）、全 4 科目を開講（合計 108 回・180 時間(12 単位)）
- ・ハイフレックス型授業（対面・オンライン選択可）、平日夜間開講

対象者

理学療法士、作業療法士など

修了要件

規定カリキュラムのすべての科目を履修し、180 時間以上の受講および講座ごとの試験（レポート課題等）に合格すること。

カリキュラム等

 シラバスは科目名をクリックして閲覧できます。

	科目名・担当教員	授業回数 時間数（単位数）	開講期間	曜日・時限	開講形態
1	バイオメカニクス学特論 [福井勉・千代丸正志・上田泰久]	27 回 45 時間(4 単位)	2026.4－2026.9	木曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	バイオメカニクス学演習 [福井勉・千代丸正志・上田泰久]	27 回 45 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	木曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	生体機能解析制御学特論 [正保哲・具志堅敏・増山里枝子]	27 回 45 時間(4 単位)	2026.4－2026.9	金曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	生体機能解析制御学演習 [正保哲・具志堅敏・増山里枝子]	27 回 45 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	金曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

3. 顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座

本講座は、臨床検査（病理検査）での顕微鏡使用歴が数年以下で、顕微鏡検査の上位資格（二級臨床検査士や細胞検査士）を目指す臨床検査技師を対象とし、顕微鏡操作、標本作製・観察および入門的な細胞診などの実習、講義、討論を通じて、顕微鏡検査について正しい知識と技術を備えたプロフェッショナル、「臨床顕微鏡検査師」を養成することを目的としています。臨床現場の顕微鏡検査では対象が病理組織・細胞、尿沈渣、血液、微生物など様々であることを踏まえ、履修者が自身のニーズと関心に応じた組合せで学べるよう、複数の選択必修科目を設けています。また、病理以外の検査部門に属しつつ細胞検査士を目指す履修者が、必要に応じて病理学・病理検査学を学び直せるような自由選択科目も用意しており、病理の実習・講義では、上位資格の試験に出題されるにも関わらず臨床現場でほとんど経験されない染色法を重点的に取り上げ、上位資格の取得を支援します。

目指す獲得スキル

- ・顕微鏡の仕組みを踏まえた正しい操作法
- ・病理、尿沈渣、血液、微生物の顕微鏡検査についての知識と検査技術
- ・Auramine-rhodamine 法、Bodian 染色、Feulgen 染色、Weigert 染色などの顕微鏡標本作製技術
- ・上記の標本の顕微鏡像についての知識
- ・免疫組織化学染色の抗体ごとの染色パターン（抗原の細胞内局在）についての知識
- ・顕微鏡標本の正常像と異常像についての知識
- ・細胞診の初歩的な知識と技能

プログラムの特徴

- ・1回100分授業、1科目につき指定授業回に参加、全11科目(総授業時数133時間)より5科目以上(合計80時間以上)を選択
- ・昼夜開講、オンライン受講、集中講義
- ・プログラム修了者は、本学独自の認定資格である「臨床顕微鏡検査師」に認定

対象者

臨床検査技師であって、顕微鏡検査の上位資格（二級臨床検査士や細胞検査士）を目指す者

修了要件

履修した全ての科目に出席し、確認テストまたは課題や作製標本（確認テスト等）で基準評価以上の場合に合格とする。

※プログラムは、以下をすべて満たした場合に、修了とする。

- ①必修科目（3科目）を全て履修し合格
- ②選択必修科目（5科目）のうち2科目以上の合格
- ③自由選択科目（3科目）

上記、①②③を合わせて履修し、合格した科目の授業時数合計が80時間以上。

科目名・担当教員			授業回数 時間数	開講期間	曜日・時限 (※2025 年度参考)	開講形態
1	必修	病因病態情報解析学特論 [山田哲夫]	8 回 13 時間	2027.4－2027.9	月曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	必修	病因病態情報解析学実験 [山田哲夫]	6 回 10 時間	2026.9－2027.3	月曜日 6・7 限 (18:30－21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	必修	病理検査学Ⅰ [木下真由美]	10 回 17 時間	2027.4－2027.9	火曜日 2 限 (10:50－12:30) 水曜日 3 限 (13:20－15:00)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	選択必修	臨床検査管理情報解析学特論 [石井利明]	3 回 5 時間	2027.4－2027.9	月曜日 1・2 限 (9:00－12:30)	対面 (オンライン不可)
5	選択必修	臨床検査管理情報解析学実験 [石井利明]	3 回 5 時間	2026.9－2027.3	金曜日 3・4 限 (13:20－16:50)	対面 (オンライン不可)
6	選択必修	感染制御検査情報解析学特論 [眞野容子]	6 回 10 時間	2027.4－2027.9	火曜日 1・2 限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
7	選択必修	血液検査学実習Ⅰ [藤本和実]	6 回 10 時間	2026.9－2027.3	【集中講義 9 月第 4 週】 月火水木金 3・4・5 限 (13:20－18:40)	対面 ※シラバス授業回 7.8.9 のみオンライン(ライブ) 応相談
8	選択必修	解剖学実習 [山田哲夫・木下真由美]	13.5 回 22.5 時間	2026.9－2027.3	金曜日 3・4 限 (13:20－16:50)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
9	自由選択	病理検査学実習 [山田哲夫・木下真由美]	6 回 10 時間	2026.9－2027.3	【集中講義 9 月第 2・3 週】 月火水木金 3・4・5 限 (13:20－18:40)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
10	自由選択	病理検査学Ⅱ [山田哲夫・木下真由美]	4 回 7 時間	2026.9－2027.3	【変則集中講義】 金曜日 1 限 (9:00－10:40) 金曜日 2 限 (10:50－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
11	自由選択	病理学 [山田哲夫]	13.5 回 22.5 時間	2026.9－2027.3	月曜日 2 限 (10:50－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

※全科目、指定授業回以外の授業を受講することはできません。

授業時間割について

本講座の授業時間割は**現在調整中**です。記載の曜日・時限は 2025 年度の実績を参考に掲載しています。

募集要項に掲載の曜日・時限は、講義全体の開講日程を示したものです。履修証明プログラムで受講する科目は、このうち一部の授業となります(一部科目を除く)。該当する授業回の日程は、調整完了後、入学手続きが終了した時点で正式にご案内いたします。

4. 地域包括ケアと多職種連携の実践講座

本講座は、地域包括ケアの現場で求められる多職種連携を、「制度・組織・現場実践」の三つの視点から体系的に学び、実務に活かす力を養います。

中核科目「地域包括ケアと多職種連携イノベーション」では、制度的背景や連携の仕組みの変遷を学びながら、地域での協働の新たな可能性を探ります。制度を単なる枠組みとして理解するのではなく、現場にどう落とし込むかという実践的な視点を育てます。「メディカルスタッフ経営学Ⅰ」では、医療・介護専門職が限られた資源を有効に活用し、組織全体の成果を高めるための経営的思考を習得。多職種連携には、理念だけでなく、資源配分や意思決定における合理性と調整力が求められます。さらに、「コミュニティ・ヘルス」や「メディカルソーシャルワーク論」を通じて、地域住民やソーシャルワーカーの視点から多職種協働を再考。地域資源の活用や住民主体の健康課題への取り組みを学びます。「医療管理学Ⅰ」「経営学Ⅰ」では、現場課題をケースとして分析し、異なる職種間の共通言語となる経営学的基盤を習得。理論と実務をつなぐ実践的な学びを提供します。

目指す獲得スキル

地域包括ケアにおけるチームマネジメント力、専門職横断の課題解決力、住民・地域を巻き込んだ協働力

プログラムの特徴

- ・1回100分授業、1科目につき全14回（22.5時間相当で調整）、全6科目を開講（合計84回・135時間(12単位)）
- ・ハイフレックス型授業（対面・オンライン選択可）、平日夜間・土曜日開講

対象者

地域包括ケアに携わる看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、自治体や包括支援センターの職員

修了要件

規定カリキュラムのすべての科目を履修し、135時間以上の受講および講座ごとの試験（レポート課題等）に合格すること。

カリキュラム等

 シラバスは科目名をクリックして閲覧できます。

	科目名・担当教員	授業回数 時間数（単位数）	開講期間	曜日・時限	開講形態
1	地域包括ケアと多職種連携イノベーション [松下博宣]	14回 22.5時間(2単位)	2026.9－2027.3	水曜日 6・7限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	メディカルスタッフ経営学Ⅰ [八木麻衣子]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	土曜日 3・4限 (13:20－16:50)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	コミュニティ・ヘルス [宮木大]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	土曜日 5限 (17:00－18:40)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	高齢者福祉とマネジメントⅠ [鳥羽美香]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	金曜日 6・7限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
5	医療管理学Ⅰ [藤谷克己]	14回 22.5時間(2単位)	2026.9－2027.3	土曜日 1・2限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
6	経営学Ⅰ [亀川雅人]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	土曜日 1・2限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

5. 多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座

本講座は、地域包括ケアの現場で求められる多職種連携を、「組織マネジメント」と「戦略経営」の視点から捉え、リーダー層が現場で実践的に推進するための力を養成します。

中核科目「メディカルスタッフ経営学Ⅰ」では、医療・福祉の現場で直面する資源制約や調整課題を経営学的に分析し、専門職が組織の成果を共に生み出す主体として機能するための視点を身につけます。「地域包括ケアと多職種連携イノベーション」では、地域や制度とのつながりを理解し、組織運営と地域包括ケアを有機的に結びつける力を育みます。さらに、「ヘルスケア経営学」「福祉医療の戦略経営Ⅰ」「経営組織論Ⅰ」を組み合わせることで戦略設計から組織行動まで幅広い経営視点を習得。BSC（バランスト・スコアカード）や組織行動理論などの実践的手法を通じて、理念にとどまらないマネジメント力を形成します。「医療管理学Ⅱ」では、現場で発生する複雑な課題をケースとして取り上げ、組織的対応と戦略的解決策を導く実践演習を行います。これにより、理論と現場実務をつなぎ、連携を経営戦略として組織に組み込む力を高めます。

目指す獲得スキル

多職種連携を推進するマネジメント力、組織戦略と現場協働の統合的理解、BSC等を活用した経営改善スキル

プログラムの特徴

- ・1回100分授業、1科目につき全14回（22.5時間相当で調整）、全6科目を開講（合計84回・135時間(12単位)）
- ・ハイフレックス型授業（対面・オンライン選択可）、平日夜間・土曜日開講

対象者

医療法人・福祉法人のリーダー層、組織マネジメントと現場連携の両方を担う中堅人材

修了要件

規定カリキュラムのすべての科目を履修し、135時間以上の受講および講座ごとの試験（レポート課題等）に合格すること。

カリキュラム等

 シラバスは科目名をクリックして閲覧できます。

	科目名・担当教員	授業回数 時間数（単位数）	開講期間	曜日・時限	開講形態
1	メディカルスタッフ経営学Ⅰ [八木麻衣子]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	土曜日 3・4限 (13:20－16:50)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	地域包括ケアと多職種連携イノベーション [松下博宣]	14回 22.5時間(2単位)	2026.9－2027.3	水曜日 6・7限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	ヘルスケア経営学 [松下博宣]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	月曜日 6・7限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	福祉医療の戦略経営Ⅰ [高橋淑郎]	14回 22.5時間(2単位)	2026.4－2026.9	水曜日 6・7限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
5	経営組織論Ⅰ [山中伸彦]	14回 22.5時間(2単位)	2026.9－2027.3	木曜日 6限 (18:20－20:00)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
6	医療管理学Ⅱ [藤谷克己]	14回 22.5時間(2単位)	2026.9－2027.3	土曜日 1・2限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

6. 多職種連携による人材育成と教育実践講座

本講座は、地域包括ケアの現場で求められる多職種連携を、「人材育成」と「教育実践」の視点から体系的に学ぶことを目的としています。近年、国内外で注目される多職種連携教育（IPE：Interprofessional Education）に対応し、教育者自身が連携の意義と方法を理解し、組織や教育現場で推進できる力を養います。

中核科目「メディカルスタッフ経営学Ⅰ」では、専門職同士が相互理解を深め、組織資源を活用して成果を高めるための経営的視点を習得。職種間で共通の枠組みで議論できる力を育てます。「地域包括ケアと多職種連携イノベーション」では、地域や制度とのつながりを俯瞰し、教育内容を現場と接続する力を養います。教育分野では、「メディカル人材開発論Ⅰ・Ⅳ」を通じて、教育工学的な手法やプログラム設計力を段階的に習得。基礎から実践、リーダー育成までを体系的に学びます。また、「国際医療人材開発論Ⅰ」では、SDGs や UHC などの国際的課題を背景に、グローバルな視点での人材育成力を磨きます。「経営学Ⅰ」では、異職種間で共通理解を可能にする経営学的基盤を習得し、教育現場や組織研修における職種横断的なコミュニケーションを支援します。これらの学びを統合することで、教育担当者は単なる知識伝達者ではなく、連携の理念を現場で具現化し、組織や地域を変革する教育的リーダーとして活躍できる力を身につけます。

目指す獲得スキル

多職種人材育成の企画・運営力、教育現場における協働推進スキル、国際的視点を取り入れた教育リーダーシップ

プログラムの特徴

- ・ 1回 100 分授業、1 科目につき全 14 回（22.5 時間相当に調整）、全 6 科目を開講（合計 84 回・135 時間(12 単位)）
- ・ ハイフレックス型授業（対面・オンライン選択可）、平日夜間・土曜日開講

対象者

医療・福祉分野で教育・研修を担う教育担当者、IPE（Interprofessional Education）に関心を持つ専門職

修了要件

規定カリキュラムのすべての科目を履修し、135 時間以上の受講および講座ごとの試験（レポート課題等）に合格すること。

カリキュラム等

 シラバスは科目名をクリックして閲覧できます。

	科目名・担当教員	授業回数 時間数（単位数）	開講期間	曜日・時限	開講形態
1	メディカルスタッフ経営学Ⅰ [八木麻衣子]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	土曜日 3・4 限 (13:20－16:50)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	地域包括ケアと多職種連携イノベーション [松下博宣]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	水曜日 6・7 限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	メディカル人材開発論Ⅰ [浅香えみ子]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.4－2026.9	火曜日 6・7 限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	メディカル人材開発論Ⅳ [中村由美子]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.4－2026.9	土曜日 1・2 限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
5	国際医療人材開発論Ⅰ [廣瀬園子]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.9－2027.3	月曜日 6・7 限 (18:20－21:45)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
6	経営学Ⅰ [亀川雅人]	14 回 22.5 時間(2 単位)	2026.4－2026.9	土曜日 1・2 限 (9:00－12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

Ⅲ. 出願書類および出願方法

[出願書類]

1. 履修証明プログラム受講願書(様式 1)

受講願書は、下記ボタンから様式をダウンロードし、次のいずれかの方法で提出してください。

パソコンで作成

- ①下記ボタンから様式をダウンロードしてください。
- ②願書の写真欄に、顔写真（上半身・脱帽・正面、3ヶ月以内に撮影、縦4cm×横3cm）の画像データを挿入してください。または、印刷後に写真を貼付してください。
- ③写真を貼付する場合は、裏面に氏名を記入してください。
- ④写真の画像データ挿入は、写真貼付欄の枠内で右クリックし、「図の変更」を選択してください。
- ⑤入力完了したら、**A4 サイズ片面で印刷**してください。

手書きで作成

- ①下記ボタンから様式をダウンロードし **A4 サイズ片面で印刷**してご記入ください。
- ②願書の写真欄に、顔写真（上半身・脱帽・正面、3ヶ月以内に撮影、縦4cm×横3cm）を貼付してください。
- ③写真の裏面に氏名を記入してください。
- ④必要事項を記入してください。数字は算用数字で記入してください。
- ⑤募集要項にも同じ様式がございますので、必要に応じてそちらをご利用いただいても差し支えありません。

[ [履修証明プログラム受講願書ダウンロード](#)]

2. 出願書類チェックシート(様式 2)

下記ボタンから様式をダウンロードし、**A4 サイズ片面で印刷**してください。

この様式は、自署欄以外の項目はパソコンで入力可能です。募集要項にも同じ様式がございますので、必要に応じてそちらをご利用ください。

[ [出願書類チェックシートダウンロード](#)]

3. 最終出身学校の卒業(修了)証明書

コピーではなく**原本をご提出**ください（発行日から3ヶ月以内のもの）。

- ・氏名が証明書と異なる場合は、戸籍抄本などの「**個人事項証明書**」も添付してください。
- ・大学院を修了している方は、学部と大学院の**両方の卒業(修了)証明書**を提出してください。
- ・大学院修了見込の方は、学部の卒業証明書と大学院の修了見込証明書をご提出ください。

4. 旅券(パスポート)または在留カードの写し(外国籍の方のみ)

下記いずれかを提出してください。

- ①**旅券(パスポート)**：顔写真・氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限が記載されたページの写し
- ②**在留カード**：表裏両面の写し

【注意事項】

- ・在留資格は、募集要項記載の「出願資格」を満たし、修学期間終了まで有効であること。
- ・履修証明プログラムの履修による在留資格（留学）の取得や更新はできません。
- ・所属機関や大学の変更もできません。

【出願方法】 ※出願書類は以下の要領に従って郵送してください。

1. 郵送方法

出願書類は、**簡易書留速達**で送付してください。

2. 封筒の仕様

- ・市販の**角形 2 号封筒**をご使用ください。
- ・書類は**折らず**に封入してください。

3. 宛名シートの貼付

封筒表面には、所定の**封筒貼付用宛名シート**を貼付してください。

宛名シートは、下記ボタンをクリックしダウンロードのうえ、印刷してご使用ください。

[ [封筒貼付用宛名シート](#)]

※なお、**ダウンロードや印刷が困難な場合**は、封筒に下記の**願書提出先住所を直接記入**して郵送いただいても差し支えありません。

【願書提出先はこちら】

〒113－8668

東京都文京区向丘 1－19－1

文京学院大学大学院 キャリア・社会教育センター

大学院教務グループ 「履修証明プログラム」係

4. 出願期間

I.募集概要 に記載の **4.入試スケジュール** 出願期間 参照

IV. 個人情報の取扱いについて

学校法人文京学院が設置する文京学院大学および同大学院（以下、「本学」）では、お預かりした個人情報について、以下のとおり適正かつ安全に管理・運用することに努めます。

本プログラムの申込時にご提出いただいた氏名、住所、その他の個人情報については、履修登録の審査や選考結果の通知、履修手続きおよび履修管理業務、これらに付随する業務を行うために本学で使用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、使用目的以外には使用しません。

さらに、法令に基づき、個人の生命・身体・財産の保護に緊急を要し、本人の同意を得ることが困難な場合を除き、本人の同意なく第三者に提供することはありません。

本件に関するお問い合わせは、文京学院大学大学院キャリア・社会教育センター大学院教務グループ「履修証明プログラム」係までお願いします。

V. その他

1. 受講許可証および受講生証の発行について

受講許可証は、受講を許可された者に発行されます。受講許可された者には、履修手続き完了後に、「文京学院大学大学院履修証明プログラム受講生証」を交付します。入校および講義への出席に必要なため、必ず携行してください。

2. 施設等利用について

施設の利用については、一般学生と同様に図書館・学生食堂等が利用できます。

3. 受講上の注意

- ①授業によっては、教科書等の教材購入費が別途かかる場合があります。シラバスおよび担当教員の指示に従ってください。
- ②各授業の実施方法はⅡ.プログラムの開講形態で確認してください。
- ③ノートパソコンが必要な場合もありますので、受講者各人で準備してください。
- ④受講期間中は、図書館施設の利用、図書の閲覧及び図書の貸出等が可能です。

VI. 問合せ先

文京学院大学大学院 キャリア・社会教育センター
大学院教務グループ「履修証明プログラム」係

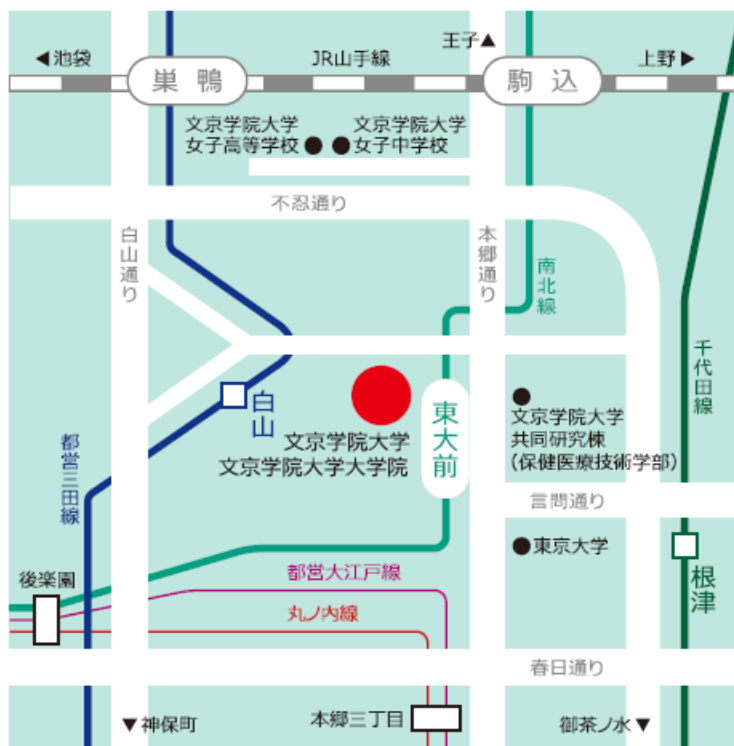
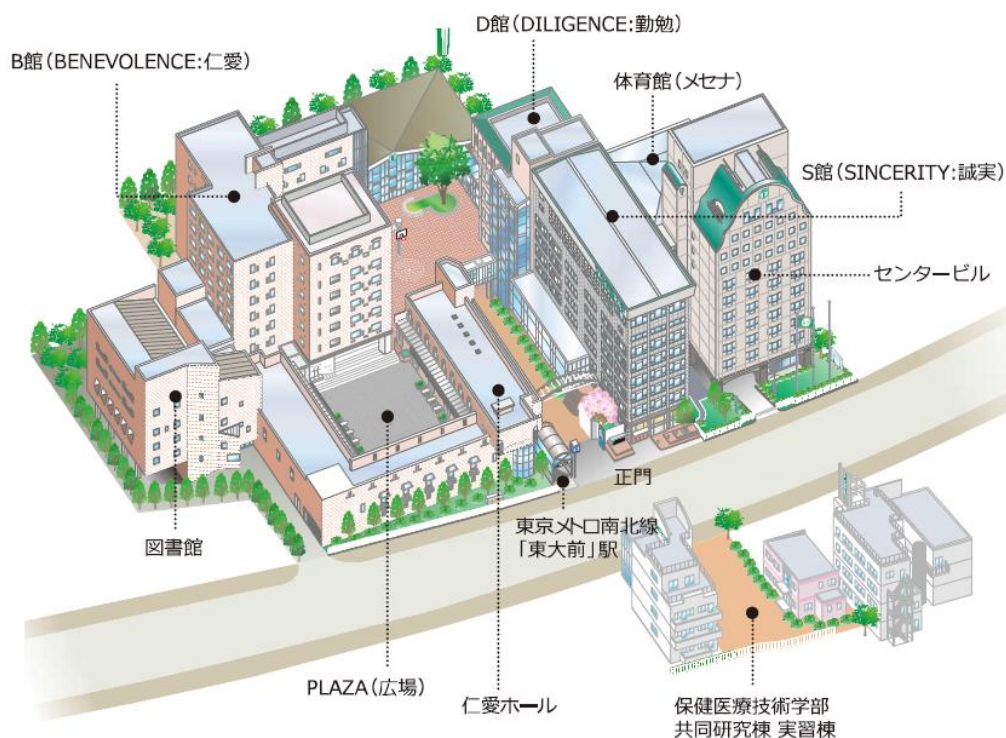
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
文京学院大学大学院 本郷キャンパス

TEL：03-5684-4832

E-mail：h-bgs@bgu.ac.jp

VII. アクセス MAP

Campus map



- 東京メトロ南北線「東大前」駅下車 (2 番出口)
徒歩 0 分
- 都営三田線「白山」駅下車 (A2 出口)
徒歩 10 分
- 東京メトロ千代田線「根津」駅下車 (1 番出口)
徒歩 10 分

事務局使用欄	
受付日	
受講 No.	

提出日 2026 年 月 日

文京学院大学大学院 履修証明プログラム
受 講 願 書

文京学院大学大学院 学長殿

フリガナ

氏 名

印

文京学院大学大学院履修証明プログラムの受講を希望しますので、許可くださるようお願いいたします。

受講希望講座 (希望する講座に✓してください)		
保健医療科学研究科	☐	1. 摂食嚥下リハビリテーション講座
	☐	2. 臨床と研究をつなぐ運動解析講座
	☐	3. 顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座
福祉医療マネジメント 研究科 (いずれか1講座のみ)	☐	4. 地域包括ケアと多職種連携の実践講座
	☐	5. 多職種連携と福祉医療組織マネジメント講座
	☐	6. 多職種連携による人材育成と教育実践講座

フリガナ			性別
氏 名			
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)		
ローマ字 氏 名 (外国籍の方のみ記入)		国籍 (外国籍の方のみ記入)	
現住所 連絡先	〒 (電話) (携帯)		
Email			
緊急時 連絡先	〒 (電話) (携帯)		
	(本人との続柄) (氏名)		

写真貼付欄
(縦4cm×横3cm)

○上半身脱帽正面
○3ヶ月以内撮影
○手書きの場合
裏面に氏名を記入

(様式1) 受講願書 (履修証明プログラム受講生)

[illegible]

事務局使用欄	
受付日	
受講 No.	

出願書類チェックシート

提出書類および確認事項 ※提出書類を確認し、右のチェック欄にレ点をしてください。	チェック欄
1. 履修証明プログラム受講願書 (様式 1) ・希望する講座にチェックがあるか ・3ヶ月以内に撮影の顔写真 (データ入力の場合は画像挿入) があるか ・写真裏面に氏名記入済か (手書きで作成の場合)	☐
2. 最終出身学校発行の卒業(修了)証明書 (原本) ・発行日から3ヶ月以内のもの ・大学院を修了している場合: 学部と大学院両方の卒業(修了)証明書 ・大学院修了見込みの場合: 学部の卒業証明書と大学院の修了見込証明書	☐
3. 証明書の氏名が異なる場合 ※該当者のみ ・「個人事項証明書」(戸籍抄本) 原本を同封	☐
4. 旅券(パスポート)または在留カードの写し ※外国籍の方のみ 次のいずれかを提出 ①旅券(パスポート): 顔写真・氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限記載ページの写し ②在留カード: 表裏両面の写し	① ☐
	② ☐
5. 出願書類チェックシート (様式 2) ※チェック後こちらの用紙も同封してください。 ・該当欄に漏れなくチェックがされているか ・個人情報の取扱いに関する確認欄に、氏名の自署があるか	☐
【最終確認】 上記の提出書類を全て用意しました。(3.4 は該当者のみ)	☐
個人情報の取扱いに関する確認	
「IV.個人情報の取扱いについて」に記載の本学の個人情報の取扱いについて理解し、同意します。 西暦 年 月 日 氏名 (自署) _____	

このチェックシートも提出書類と一緒に提出してください。

※不備があると受理できない場合があります。提出前に必ずコピーを保管してください。